

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,596	t-CO ₂
（温室効果ガス削減換算排出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		4,596	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度	
温室効果ガス総排出量	4,356	t-CO ₂	4,225	t-CO ₂	4,596	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			3.0	%	▲ 5.5	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 5 年度		令和 8 年度		令和 6 年度		令和 7 年度		令和 8 年度	
原単位当たりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位当たりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

開業時に省エネ性能が高い機器を導入しているためハード面での改善は難しく、季節に合わせて空調運転時間を変動させるなど、運転管理の創意工夫による省エネ対策を実施。しかしながら、3月・4月・6月・10月と、前年度より外気環境負荷が高い月が多かったため、目標未達。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネ省資源の推進 冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季・冬季において外気温及び時間帯に合わせた、空調機1台単位での柔軟な温度設定管理。 ・中間期のナイトページ・外気取り入れ活用による空調効率の向上。 ・空調フィルターの掃除など効率の良い運転のための点検・保守管理を徹底。 ・運営社員のクールビズの実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する空調機の開始時間を一部ずらし、時間帯によって温度設定を変更するなど、省エネにつながる設定管理を実施。 ・空調機のフィルターや機内洗浄を行うなど、機器の効率を向上させる保守管理を実施。
省エネ省資源の推進 照明	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない部屋や使用時間外の消灯徹底 ・店舗営業時間外の照度を落とし、エリアごとに照明スケジュールを細分化することにより計画的な運用を行う。 ・照明器具の更新においてより高効率な機器の選定を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・夜間清掃の作業スケジュールに合わせ、フロアごとに照明オフスケジュールを設定し、不要な時間帯の照明を削減。 ・工事期間店舗の日中の空調を絞るなど、計画的な運用を実施。
省エネ省資源の推進 OA機器	<ul style="list-style-type: none"> ・OA機器（パソコン・コピー機・携帯充電器等）は、退出時のスイッチオフやコンセント抜きを徹底する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・個人使用のOA機器については退勤時の鍵にかかる場所に保管を義務づけることにより、確実な電源オフを実施した。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度			
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
k1	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

日

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・後方休憩室や会議室の空調の切り忘れ防止のため、オフスケジュールを設定し、無駄の削減に取り組んだ。

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

・当社男性従業員へのクールビズスタイルを実施するとともに、男性女性問わず、スマートカジュアルスタイルでの勤務も実施。